

令和8年度大学院入学試験専門試験問題 (前期募集)

教育実践高度化専攻

教科教育・教科複合実践研究コース

(芸術創造領域 音楽分野)

注 意 事 項

- 1 問題用紙と解答用紙は別である。解答用紙に記入すること。
- 2 出願時に選択した1科目を解答すること。
- 3 解答用紙には、選択した科目名を所定の欄に記入すること。
- 4 解答用紙には、受験番号を所定の欄に必ず記入すること。
- 5 解答用紙のみ返送すること。なお、問題用紙は回収しない。

問題

出願時に選択した1科目を、1000～1200字で解答すること。

◎ 音楽教育学

『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 音楽』〔第1編 総説〕〔第1章 平成29年改訂を踏まえた学習評価の改善〕〔3 平成29年改訂を受けた評価の観点の整理〕*では、「平成29年改訂学習指導要領においては、知・徳・体にわたる『生きる力』を児童生徒に育むために『何のために学ぶのか』という各教科等を学ぶ意義を共有しながら、授業の創意工夫や教科書等の教材の改善を引き出していくことができるようにするため、全ての教科等の目標及び内容を『知識及び技能』、『思考力、判断力、表現力等』、『学びに向かう力、人間性等』の育成を目指す資質・能力の三つの柱で再整理した」としている。

音楽科の授業で「何のために学ぶのか」は具体的にどのように評価に反映すればよいか。実践事例とともにあなたの考えを述べなさい。なお、校種は小学校に限定しなくてもよい。

*文部科学省国立教育政策研究所（2020）『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 音楽』東洋館出版社，p.6

◎ 声楽

オペラ（歌劇）の魅力について、あなたの考えを述べなさい。

◎ 器楽

学校現場において合奏を指導する際に、特に留意すべきことを3点あげ、それぞれについて論じなさい。校種や学年は自由に設定してよいものとする。

◎ 作曲

あなたがこれまでに作曲を通じて学んだ内容が、クラス授業における音楽鑑賞指導においてどのように役立つと考えるか。

小学校または中学校での授業を想定し、具体的に述べなさい。

◎ 音楽学

『小学校学習指導要領（平成29年告示）』の「第2章 各教科」〔第6節 音楽〕〔第2各学年の目標及び内容〕〔第3学年及び第4学年〕〔3 内容の取扱い〕(3)アには、「我が国の音楽、郷土の音楽、諸外国に伝わる民謡」は「生活との関わりを捉えやすい音楽」であるとの見方が示されている*。音楽と生活との関わりを捉えるとは、どのようにすることであると考えられるか。具体例——どんな音楽のどの部分が、それを生み出した地域あるいは人々の生活とどのような仕方関わっていると見られるか。そのことを学校の授業で児童生徒が捉えられるようにするには、どのような授業展開が考えられるか——を挙げて、あなたの考えを述べなさい。

*文部科学省（2018）『小学校学習指導要領（平成29年告示）』東洋館出版社，p.121